

賞状を受け取るみぬま福祉会後援会広報委員長の鶴岡久美さん
—20日、さいたま市浦和区の県障害者交流センター—



みぬま福祉会 後援会が最優秀

県障害者団体機関紙コンクール

県内の障害者団体の情報発信力を高めようと、第一回県障害者団体機関紙コンクール（障害者の生活と権利を守る

埼玉県民連絡協議会―障埼玉連主催、埼玉新聞社など後援）の表彰式が20日、さいたま市浦和区の県障害者交流センターで開かれ、最優秀の県障害者福祉推進課長賞に川口市のみぬま福祉会後援会の「輝け太陽」が選ばれた。

初開催のコンクールには県内各地の障害者団体から50の機関紙や広報紙が出品され、

7作品が入賞した。最優秀賞に輝いたみぬま福祉会後援会広報委員長の鶴岡久美さんは「親たち11人が広報委員を務めて作っています。言いたいことがたくさんあり、文章が長くなりがちなのですが、写真も多く入れて読みやすくするよう心掛けています」と話していた。

ほかの入賞作品は次の通り。埼玉新聞社賞―日和田会後援会（日高市）「翔けノかわせみ」▽日本機関紙協会県本部賞―春日部市聴力障害者協会「春聴協たより」▽県障害者協議会賞―虹の会（さいたま市桜区）「にじ」▽埼玉障害者センター賞―ともに福祉会支える会（春日部市）「ともに」▽障埼玉連賞―埼玉障害者自立生活協会（ふじみ野市）「通信」▽特別賞―やどかりの里（さいたま市見沼区）「天宮見沼よみさんぼ」